

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2007-88819(P2007-88819A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2005-275190(P2005-275190)

【国際特許分類】

H 0 3 H 9/17 (2006.01)

H 0 1 L 41/09 (2006.01)

H 0 1 L 41/187 (2006.01)

H 0 1 L 41/18 (2006.01)

H 0 1 L 41/22 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/17 F

H 0 1 L 41/08 C

H 0 1 L 41/18 1 0 1 B

H 0 1 L 41/18 1 0 1 D

H 0 1 L 41/18 1 0 1 Z

H 0 1 L 41/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に圧電体層と、

前記圧電体層上に第 2 の電極と、が積層され、

前記第 1 の電極と前記第 2 の電極のうちの少なくとも一方の電極が導電性ダイヤモンド
で構成されていることを特徴とする圧電薄膜振動子。

【請求項 2】

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に圧電体層と、

前記圧電体層上に第 2 の電極と、が積層され、

前記第 1 の電極と前記第 2 の電極のうちの少なくとも一方の電極がダイヤモンド膜と金
属膜の積層体で構成されていることを特徴とする圧電薄膜振動子。

【請求項 3】

前記ダイヤモンド膜と金属膜の積層体において、ダイヤモンド膜の膜厚と金属膜の膜厚
の比が両者中の音響振動の伝播速度の比の 2 . 5 倍以上であることを特徴とする請求項 2
に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項 4】

前記積層構造中に酸化シリコン層が含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれ
か一項に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子を備えることを特徴とするフィルタ。